

# 芭蕉のさと企画展

開催中

## 甲州俳諧展 — 芭蕉の後継者たち —

### 早川石牙・漫々～親子二代の俳諧

江戸時代、甲州(山梨県)は、江戸を中心とした文化圏に属していました。俳諧においても例外ではなく、甲州の俳人たちは主として江戸の俳人と交流を持ち、またその指導を仰いでいました。松尾芭蕉のように、時折江戸以外の俳人が甲州を訪れることがあっても、それが大きな動きにつながることはほとんどありませんでした。

しかし、18世紀後半ころ、そうした江戸俳壇の支配下ともいえる位置から脱却する動きが出てきます。そのさきがけとなったのが、医師としても活躍した早川石牙とその息子の漫々たちでした。

石牙は、若年の頃京に上って医術を修めると共に、京都俳人と関係を結び、それまで江戸一辺倒だった甲州俳壇に京都風の傾向を吹き込みました。また、漫々は流派や派閥にとらわれない姿勢で、江戸以外の俳人や国学者たちとも交流関係を築き、甲州俳壇の重鎮として活躍しています。

彼らに代表される、そうした柔軟な動きが、やがて甲州俳壇を江戸俳壇の一部ではなく、独立した存在として全国的に認識させる契機となっていきました。

本企画展では、石牙・漫々の交流関係を中心とした動向を通して、18世紀後半に甲州俳壇の変化を促した動きについて紹介いたします。

会 期	12月23日(月)まで
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
休 館 日	12月9・16・17・24日
観覧料金	
一 般	300円(210円)
高校・大学生	200円(140円)
小・中学生	100円(70円)
	※( )内は20名以上の団体料金です。



増田誠美術館内

「道草」という表現がいかにも画伯らしく、ユーモラスです。しかし、この作品群も本道の油彩画に並ぶほど、素晴らしい作品ばかりです。家族そろって「ミュージアム都留・増田誠美術館」にお越しください。



「六十路過ぎ 墨への道の遙かなる 楽し 道草の味 吞舟(印)」

増田誠画伯は、大正9年(1920)に旧谷村町に生まれ、その優れた才能と卓越した描写力により、日本を代表する洋画家としてその名を知られています。増田誠美術館では、展示替えを行ないました。ただ今、画伯の本道とも言うべき油彩画13点、画伯が意欲的に取り組んだ版画(ギリシャ神話シリーズ)12点、そして今回、普段見ることのできない画伯の「墨彩画」13点を展示しています。墨彩画を描き続けることを、画伯は「道草の味」という作品中でこう語っています。

## 増田誠美術館

申込・問合先

都留市博物館

「ミュージアム都留」

☎(45) 8008

☎(45) 8608

分館増田誠美術館

(ふるさと会館2階)

☎(45) 4111

## 城下町奉行だより

### 年末年始における 防犯対策をしっかりと

本年も残すところ一カ月となり、慌しく生活をする時期となりましたが、例年、この時期になりますと、一般住宅や事業所を対象とした空き巣ねらいや金融機関及びコンビニエンスストアなどにおける強盗事件、凶悪犯罪、更にはスリ、ひったくりなどの犯罪が多く発生します。警察においては、こうした年末年始に発生しがちな各種事件・事故を未然に防ぎ、安全な地域づくりと明るい新年を迎えるために、12月1日から翌年1月7日まで「年末年始特別警戒取り締り」として、多くの警察官を街頭に出して警戒活動を実施します。

更に、地域の防犯協会をはじめ、地域・職域の各種防犯団体の方々の協力を得て、防犯診断や金融機関への特別パトロールなども行います。住民の皆さんが、こうした犯罪の被害者とならないために

- ◎家を留守にするときは、必ず戸締りをし、隣近所に声をかける
- ◎不審な人、車両などを見たときは、メモをして通報する
- ◎乗り物には貴重品は置かない、ドアロックは確実にする
- ◎被害にあったときは、現場はそのままにして警察へ連絡を行う

など習慣づけ、どんな些細なことでも最寄の交番、駐在所へ連絡してください。